

	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<p>有田市立箕島中学校</p> <p>自主 友愛 剛健</p>	R4-5-16
			No. 9

「箕島中学校のみなさんはよく挨拶をしてくれますね」学校にお越し
 いただいた人からよくお褒めの言葉をいただきます。そんなときは
 「そうなんです。素晴らしい生徒たちでしょ」とか言って、みなさん
 のことを自慢しすぎない程度に自慢させていただいています。挨拶は
 人と人を結びつける「心と心の架け橋」の役割を果たしてくれます。



挨拶はしても、されても心が温かくなります。これは日本に限ったことではなく世界共通です。
 海外でもその国の母語で挨拶を交わせば、ずいぶんとその場の雰囲気よくなるそうです。

なぜ、挨拶はそれほど大切なものなのか、一緒に考えてみましょう。「マズローの5段階欲求」という理論があります。人間の欲求とは、下のような5段階のピラミッドのようにつながっていて、一番下の欲求から上に向かって満たされていくことで、最終的に自己実現に達するという理論です。挨拶を交わすとお互いに安心し、“私たちは仲間ですよ”という気持ちになります(ピラミッドの下から2つめと3つめ)。しかし、挨拶の効果はそれにとどまりません。**挨拶の時にプラスα(心を込める・笑顔など)を加えると、お互いに「自分は認められている」という幸せな気持ちになります**(ピラミッドの上から2つめ)。この「認められている」という感覚が大切なのです。ここが満たされて初めて、一番上の「自己実現」へとつながっていきます。「自己実現」とは「なりたい自分になる、自分らしく生きていきたい、自分の理想に近づきたい」ということ、すなわち「自分の夢を実現すること」と言えるでしょう。

このように、挨拶は「安心」だけにとどまらず「承認」というプレゼントもすることができるものなのです。安心できる仲間がいて、認められたと感じたとき、人は自己実現(夢の実現)に向けて走り出せるようになります。**ことばプラスαで良い挨拶を交わしましょう**。そこには自己実現を目指して生き生きと生活するみなさんの姿があるはずです。

